



エコアクション21  
認証番号0009773

# 2021年度 環境経営レポート

(対象期間: 2021年2月1日～ 2022年1月31日)

東阪電子機器株式会社

## 温故創新



作成日: 2022年3月31日  
更新日: 2022年11月11日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10



## □ごあいさつ

弊社は海外でのオリジナル製品、OEM、EMS生産システムの構築を目指して1995年香港、1997年中国に進出し、生産体制、部材調達体制を確立してまいりました。その結果コストパフォーマンスに優れた製品供給が可能となりました。この海外生産システムをはじめ、弊社のソフト、ハード、メカニカルの三位一体総合技術を活用頂き、お客様と密に連携させて頂く事で、大企業と同等の効果を発揮でき収益向上のお役に立てるものと確信しております。また、品質や環境面でもISO-9001やエコアクション21を取得する事により経営方針である

『世の中の潜在ニーズを探し形にし続ける』  
『新しい事にチャレンジし続ける』  
『多様性を尊重し、前例に縛られず前に進み続ける』

を確たるものにし、地球環境の社会的使命を自覚し、本業である電子機器の製造販売を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

# 温故創新

(我々は温故知新を一步踏み込み、俯瞰的、複合的視点から新しい製品・サービスを創造する事を理念とし、お客様に幸せと驚きを届け続ける事に努力し邁進します)

### <環境保全への行動指針>

1. 当社は、環境関連法規制や当社が定めた環境管理システムを遵守・改善します。  
環境経営の継続的活動を行います。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ・電力(工場、事務所)の削減。
  - ・自動車燃料(営業車)の削減。
  - ・大阪事業所の照明LED化による電力削減及びデマンド監視装置導入により電力消費及びピークカットにより契約基本料金ダウンとCO2削減に貢献します。
  - ・営業車のエコドライブ宣言とエコカー導入によりCO2削減に貢献します。
  - ・外部配送依頼の効率化
3. 廃棄物の削減及び再生利用の促進に努めます。
  - ・一般廃棄物(ダンボール等)の削減。
  - ・産業廃棄物(廃プラ、廃金属等)の削減。
4. 水使用量の削減に努めます。
  - ・一般水道水の削減。
5. グリーン調達を推進します。
  - ・顧客の要請により有害物質情報の収集に努めます。
  - ・環境に配慮した事務用品や生産副資材を調達します。
6. 製品及びサービスの環境配慮に取り組みます。
  - ・顧客の要請によりRoHS及び又はREACH対応に取り組みます。
  - ・自社新製品のRoHS対応に取り組みます。
  - ・省エネに配慮した製品の設計・開発に取り組みます。
  - ・EMC対応商品の開発に取り組みます。
7. 事業継承に努めます。
  - ・2019年11月22日付けで中小企業庁の事業継続力計画による認定を頂きました。



制定日：2013年2月1日

改定日：2022年11月11日

代表取締役社長 永野 敏廣

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

東阪電子機器株式会社  
代表取締役社長 永野 敏廣

(2) 所在地

本 社 東京都渋谷区恵比寿1-3-1  
大阪事業所 大阪府吹田市江の木町29-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 品質保証部 中島 淳泰 TEL:06-6337-7100  
担当者 管理本部(大阪Gr) 首藤 あすか TEL:06-6337-7102

(4) 事業内容

電子機器の製造・販売  
主要製品:産業用電子機器(多種目)、モータ駆動制御装置、医療機器

(5) 事業の規模

売上高 17.5 億円

	本 社	大阪事業所			合計
従業員 名	9名	27名	名	名	36名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	140 m <sup>2</sup>	1156 m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1296 m <sup>2</sup>

(6) 事業年度 2月1日～1月31日

□認証・登録の対象組織・活動

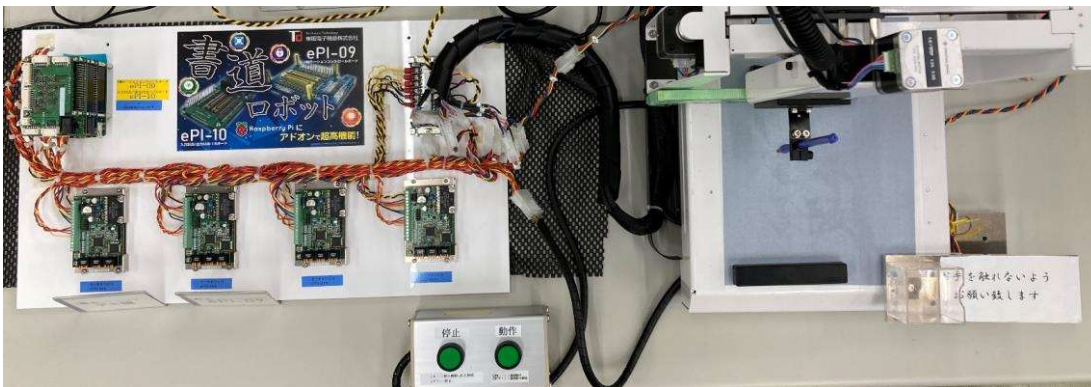
登録組織名: 東阪電子機器株式会社  
対象事業所: 本 社  
大阪事業所

対象外: なし  
活動: 電子機器の製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介



弊社中国(東莞)工場

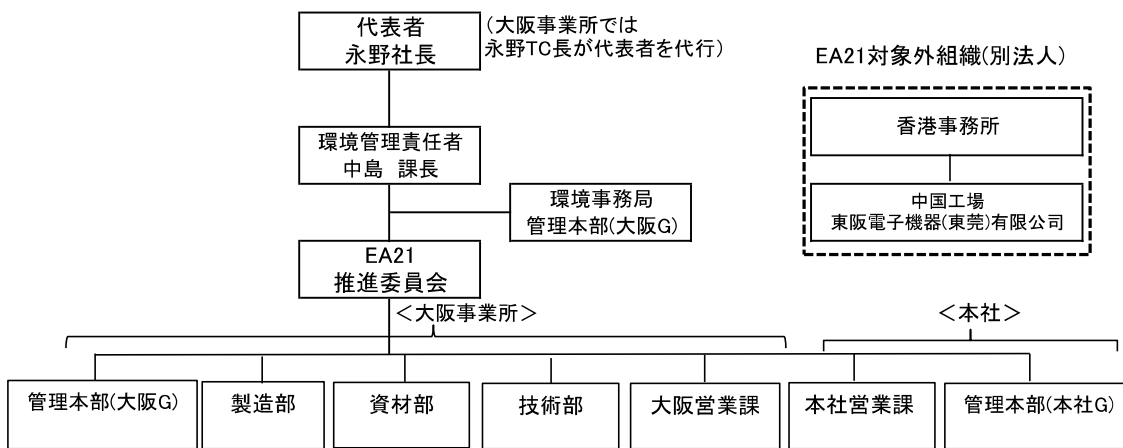


小型(環境配慮)ドライバー + コントローラを使用した書道ロボット  
<3>



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2022年1月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長) 但し大阪事業所では、永野TC長が代表者を代行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認及び地域事務局への送付</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表／遵守評価記録の作成</li> <li>環境活動の実施集計</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議(環境への負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施及び環境目標・環境活動計画原案の作成を含む)</li> <li>環境活動実績の推進</li> <li>環境活動実績の評価と次年度への展開</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門の従業員への環境方針・環境活動状況等の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



38期キックオフはコロナ対策でリモートで実施  
<4>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	62,724	51,728	48,384
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	4325	4173.4	4,277
産業廃棄物排出量	Kg	0	6390	8,700
総排水量	m <sup>3</sup>	388	353	357

※二酸化炭素排出係数 0.514 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数(本社)  
 0.355 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数(大阪)

□環境経営目標及びその実績

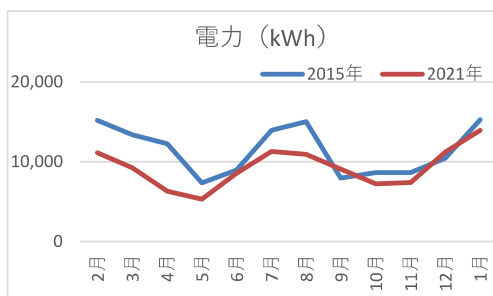
項目	年度	単位	基準値	2021年		評価	2022年	2023年	
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減(全社)	kg-CO <sub>2</sub>		69,108	48,376	41,604	○	47,685	46,994	
	基準年度比		2015年	70%	57%		69%	68%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>		18,482	10,165	6,779	○	9,980	9,795	
	基準年度比		2014年	55%	37%		54%	53%	
上記二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>		101,940	72,604	48,384		71,441	70,421	
一般廃棄物の削減(全社)	kg		4,325	4,498	4,277	○	4,498	4,455	
	基準年度比		2014年	104%	99%		104%	103%	
産業廃棄物の削減(大阪のみ)	kg		5,580	4,464	8,700	×	3,906	3,627	
	基準年度比		2014年	80%	156%		70%	65%	
水道水の削減(大阪のみ)	m <sup>3</sup>		388	376	357	○	372	369	
	基準年度比		2014年	97%	92%		96%	95%	
グリーン購入の推進(全 オフィス用品G購入率)	% (金額率)		—	55%	48%	×	60%	65%	
製品への環境配慮 (RoHS適合品)			行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(全社)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	・期末に向け残業が増えましただが、全般的に残業0(削減)活動による効果と思われます。 ・作業不在エリアのエアコン・照明OFFの徹底
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・クールビズ/ウォームビズの推進	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・生産設備・治工具の待機時間短縮	○	
・不要照明の消灯/昼休み時間の消灯	○	

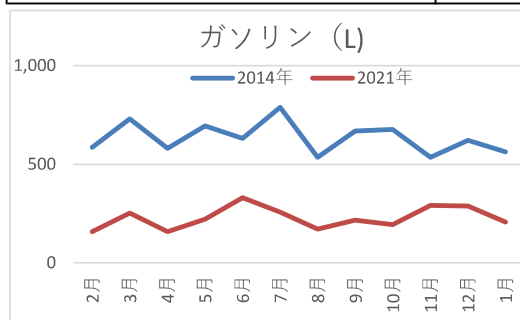


次年度の取組内容

弊社は電力消費の大半はエアコン及び照明にであるため気候に大きく左右されますが、仕事効率UPの取組を行いより一層の電力使用削減に取り組みます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2015年	15,148	13,328	12,255	7,329	8,934	13,911	14,987	7,924	8,630	8,630	10,429	15,240
2021年	11,111	9,197	6,302	5,288	8,539	11,276	10,948	9,049	7,226	7,378	11,176	13,913

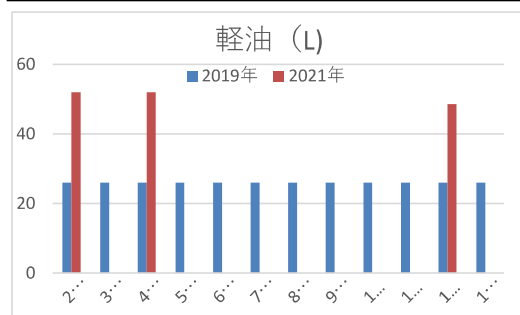
自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響による訪問自粛、オンライン商談の推進により社用車の使用頻度の減少によるものです。</li> <li>・タイヤ空気圧点検の漏れはなく、引き続き点検を継続する</li> <li>・エコドライブ宣言に基づく運転を行う。</li> </ul>
・効率的な社用車運行営業活動		○	
・タイヤ空気圧の始業前点検の実施		△	
・エコドライブ運転の宣言・徹底		○	



取組紹介欄

次年度の取組内容  
 エコカー(ハイブリッドカー)の導入によりガソリンの使用量は減少していますが、効率の良い運用及び空理圧点検を引き続き実施します。リモートによる商談も増え社用車の使用減の効果も出ています。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	585	731	580	694	630	788	535	669	676	536	622	562
2021年	158	252	158	221	331	258	172	217	194	292	288	207

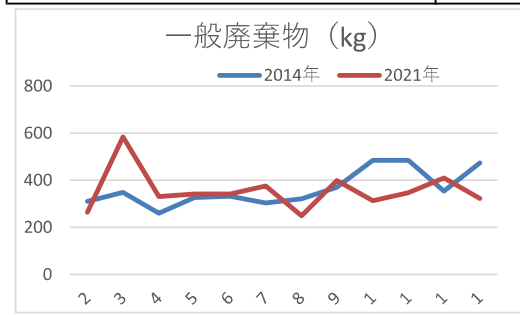


取組紹介欄

次年度の取組内容  
 ハイエース(軽油)の使用頻度は少ない様なので基準年(2019年)との比較は出来ませんが効率の良い運用に努めます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
2021年	52	0	52	0	0	0	0	0	0	0	49	0

一般廃棄物の削減(全社)		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		○	後半は昨年比で増加傾向ですが、期末に向けて仕事量増によるものです。
・分別の徹底		○	
・裏紙/両面・集約印刷の励行		△	
・整理星と雲清掃(5S)の推進		△	
・配布資料のペーパーレス化/省コピー化		○	

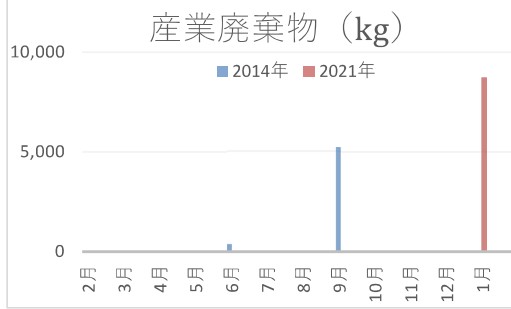


取組紹介欄

次年度の取組内容  
 弊社の業務内容的に仕事量に比例するので一概に削減することは難しいですが、分別の徹底及びIT化の促進によるペーパーレスに取り組みます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	310	349	260	326	333	304	321	371	485	485	354	474
2021年	264	584	330	342	342	376	249	398	314	346	410	322

産業廃棄物の削減(大阪のみ)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	期末に長期在庫品の処分を行った為にこの廃棄量になりました。
・生産工程での歩留まり向上／ロスの低減	○	
・工程内不具合／顧客クレームの低減	○	
・設計ミスによる廃棄の低減	○	



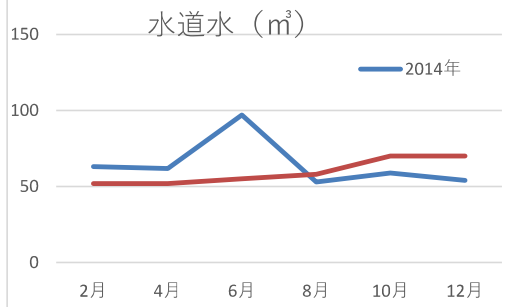
取組紹介欄

次年度の取組内容

引き続き、生産工程での歩留まり向上／ロスの低減を推進し廃棄ロスを減らします。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	0	0	0	0	380	0	0	5,200	0	0	0	0
2021年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,700

水道水の削減(大阪のみ)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	第4四半期での残業増の影響により使用量が増加気味です。
・節水を心掛ける、出しっぱなしは無いかな？	○	
・節水シールの貼り付	○	
・社用車の洗車の効率化	○	



取組紹介欄

次年度の取組内容

業務での水使用はほぼ無いですが、節水には一層心がけます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	63	0	62	0	97	0	53	0	59	0	54	0
2021年	52	0	52	0	55	0	58	0	70	0	70	0

<7>



グリーン購入の推進（全社）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	複合機入れ替えによりグリーン購入比率をUP出来ています。業務およびコストに支障をきたさない範囲で事務用品のグリーン購入を検討します。
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	△	
・有害性の少ない資材の購入	△	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	

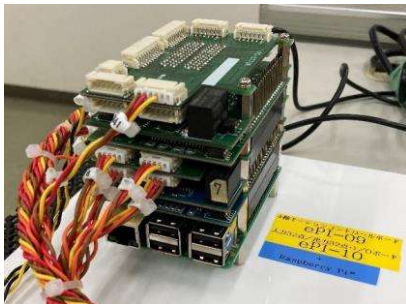
次年度の取組内容

現状通りの購入コストを考慮し購入時に検討し導入を進めていきます。

製品への環境配慮（RoHS適合品）	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	○	小型コントローラ+ドライバーで展示会にてロボットの展示を行いました。
・省エネ設計（小型化など）	○	
・非有害物質資材・部品の採用（RoHS対応）	○	
・省エネ設計（低消費電力）	.△	

取組紹介欄

【小型省スペースのコントローラ】



4軸モーションコントローラ  
ePI-09  
+  
IN32点/OUT32点のI/Oボード  
ePI-10  
+  
Raspberry PI ®

次年度の取組内容

環境に配慮（RoHS対応・省エネ）した自社商品開発を引き続き行います。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、金属)、水銀廃棄物の適正処理
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
RoHS指令	購入部品・部材

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守しています。  
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。


**□緊急事態対応訓練**

緊急事態の想定：地震の発生	
■実施日：2021年10月18日	■実施場所：大阪事業所
■参加者：当日出社社員	■実施内容： ・避難訓練
■評価：	手順書変更否 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
2Fより吉原・永峰3Fより水谷・中島の合計4名が1Fまで階段を点検を行い異常無しを確認した。 帰宅困難対策については、3年前の地震にて大阪事業所の現在のメンバーの約8割は体験済みであったが各位再認識を行った	
■実施状況の様子 新型コロナウイルス感染予防の観点から密回避のため以下の要領で実施します。 ①「帰宅困難者対策」の回覧配布(丸の内防災マガジンVol.2553帰宅困難者対策) 帰宅困難の事例等を参考にしてください。 大阪府のHp <a href="https://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/kitakukonnan3/index.html">https://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/kitakukonnan3/index.html</a> も参考に ② 2・3階非常階段の点検 各フロア2名程度選抜し2・3各階から1階まで避難出来ることを確認する。 各自で非常階段への導線を確認するが次の代表者にて実際確認を実施する。 2階実施者：永峰・吉原 3階実施者：栗原・水野 首藤・中島は1F(外側)から状況を監視結果を永野センター長に報告。 ③管理本部より配布されている「緊急連絡網」の確認 各自誰から連絡が来て誰に連絡するのかを確認すること。	

緊急事態の想定：地震の発生	
■実施日：2021年10月12日	■実施場所：東京本社ビル
■参加者：ビル・テナント全員 弊社は電話番号を除き当日出社全員	■実施内容： ・避難訓練
■評価：	手順書変更否 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
訓練主催のビル管理会社の指示にて、日常使用しない建物外階段からの避難。ヘルメットを被り忘れたが、非常事態のためそのまま避難。非常階段には障害物もなく非難しやすかった。	
■実施状況の様子 新型コロナウイルス感染防止等を鑑み、資料の配布・回覧にて防災訓練とする。 ・「丸の内防災マガジンVol. 2553帰宅困難者対策」回覧 ・「2021年度緊急連絡先のお知らせ」回覧 ・「避難経路図」回覧及び目視確認の実施 当社室内からの避難経路を確認 ・「消火器の配置」確認 当社室内出入口右手廊下に消火器が配置されていることを再確認	

口代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年2月15日

<p><b>【前回の指示への取組結果】</b>                  前回代表者からの、環境活動に対する指示はありませんでした。</p>		
<p>＜情報＞</p> <p>◇自社を取り巻く環境問題の変化                  （社会的情勢、利害関係者の要求等）                  新型コロナの影響の中売上は目標達成でき、作業効率化等の取り組みもあり利益は確保出来た。</p> <p>◇環境目標・活動計画の達成状況                  エコカー導入、新電力移行でCO2の削減効果は出ており、さらに製造工程の効率化による時短に一層取り組みます。</p> <p>◇その他                  ・利害関係者からの苦情・要請等                  ・環境上の問題点等                  特に有りませんでした</p>		<p>＜見直し・指示＞</p> <p>◇環境方針                  変更有りません。</p> <p>◇環境経営目標・環境経営計画                  特に変更は有りません。</p> <p>◇その他                  特に有りません。</p>
<p><b>【今回の評価結果と今後の経営視点】</b>                  全社として環境に関する意識は出来ており、習慣化レベルまで来ている事は評価出来るので今後はより省エネや環境に貢献できるモノづくりを行い、社会に貢献していきたいと考えています。</p>		